

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月10日

上場会社名 株式会社ヤマダ電機
(URL <http://www.yamada-denki.jp>)

(コード番号: 9831 東証第1部)

代表者 役職名 代表取締役社長 山田 昇
問合せ先責任者 役職名 専務取締役経営企画室長 茂木 守

T E L 027(233)-5522 (代表)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有・**無**

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(1) 売上高（又はこれに相当する事項）

期	項目	売上高	前年同期比
平成16年3月期第1四半期		211,165百万円	
平成15年3月期第1四半期			
(参考)平成15年3月期通期		793,829百万円	

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率につきましては記載しておりません。売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、後半株式市場の持ち直しなど一部に回復の兆しが見られたものの依然として、金融不安、デフレの深刻化、雇用情勢の悪化などにより設備投資の抑制、個人消費の低迷が加速し引き続き厳しい状況で推移いたしました。

家電販売業界では、昨年のワールドカップ特需によるPDP（プラズマディスプレイ）テレビ、液晶テレビ等の大型テレビの反動減、長引くパソコンの需要減退など厳しい環境でのスタートとなりました。

このような状況の中、当社グループでは、ポイント還元制度の拡充による顧客の固定化、改装による既存店の活性化、ダイクマ店舗のテックランド店舗とNEWダイクマ店舗への複合化、「接客日本一を目指して」プロジェクトチームによる社員のスキル向上等に取り組みました。店舗開発では、テックランド下関店など5店舗を新設し、売上高は2,111億65百万円となりました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	459,000	14,200	7,900	94 82
通期	970,000	33,100	18,400	220 85

(参考) 平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想年間配当金					
				中間		通		期	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	439,400	11,168	5,268	-	-	-	-	-	-
通期	931,900	27,128	13,328	-	-	8	00	8	00

[業績予想について]

今後のわが国経済は、一部に株式市場の回復による消費者マインドの冷え込みの改善などの期待ができますが、本格的な景気回復への兆しは見えず、更に不透明感は続き、依然として厳しい経営環境は継続するものと思われます。当該四半期における業績は概ね計画通りに推移しており業績予想に修正はありません。

[業績等の予想に関する注意事項]

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上